



# APPENDIX **B**

## Prime Provisioning XML リファレンス

この付録では、Prime Provisioning ディスカバリで使用される XML ファイルで使用される XML ルール、タグ、および属性を示します（アルファベット順）。

XML ファイルと XML の例の詳しい説明については、[付録 E「インベントリ - ディスカバリ」](#)を参照してください。

表 B-1 Prime Provisioning の XML ルール、タグ、および属性

タグ	説明
<as-number>	プロバイダーの自律システム（AS）番号を指定します。AS 番号は、1 ～ 65535 の範囲の整数です。
<CDP>	<CDP> タグを開始します。<CDP> タグは、シード IP アドレスとホップ カウントを指定します。  <CDP> タグには、次の属性を含める必要があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>ipaddress</b></li><li>• <b>hop</b></li></ul>
<connection>	<connection> タグを開始します。<connection> タグでは、次の属性を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>discovery-protocol</b></li><li>• <b>fromDevice</b></li><li>• <b>FromIP</b></li><li>• <b>FromInterface</b></li><li>• <b>toDevice</b></li><li>• <b>toIP</b></li><li>• <b>toIF</b></li></ul>

表 B-1 Prime Provisioning の XML ルール、タグ、および属性 (続き)

タグ	説明
<create-customer>	<p><b>create-customer</b> ルールを開始します。  <b>create-customer</b> ルールは、リージョン オブジェクトを作成します。<b>create-customer</b> ルールには、次のタグを含める必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• &lt;customer-name&gt;</li> <li>• &lt;create-site&gt;</li> </ul>
<create-provider>	<p><b>create-provider</b> ルールを開始します。  <b>create-provider</b> ルールは、サービス プロバイダー オブジェクトを作成します。</p> <p><b>create-provider</b> ルールには次のタグを含める必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• &lt;provider-name&gt;</li> <li>• &lt;as-number&gt;</li> <li>• &lt;create-region&gt;</li> </ul>
<create-region>	<p><b>create-region</b> ルールを開始します。  <b>create-region</b> ルールはリージョン オブジェクトを作成します。<b>create-region</b> ルールには <b>region-name</b> タグを含める必要があります。</p>
<create-site>	<p><b>create-site</b> ルールを開始します。<b>create-site</b> ルールには &lt;site-name&gt; タグを含める必要があります。</p>
<customer-name>	<p>カスタマー名を指定します。<b>create-customer</b> ルール内で必須です。</p>
<device>	<p>&lt;device&gt; タグを開始します。&lt;device&gt; タグには、次のタグを含める必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• &lt;device-name&gt;</li> <li>• &lt;ip-address&gt;</li> </ul> <p>次のタグは、&lt;device&gt; タグ内で使用する任意のタグです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• &lt;system-object-id&gt;</li> <li>• &lt;snmp-info&gt;</li> </ul>
<device-name>	<p>デバイス名を指定します。&lt;device&gt; タグ内で必須です。</p>
<DISCOVERY_METHOD>	<p>&lt;DISCOVERY_METHOD&gt; タグを開始します。  &lt;DISCOVERY_METHOD&gt; タグには &lt;CDP&gt; タグを含める必要があります。</p>
discovery-protocol	<p>ネットワーク トポロジを検出する際に使用する検出プロトコルを指定します。通常は「CDP」です。</p>
fromDevice	<p>名前付き物理回線の開始元のデバイス名を指定します。&lt;connection&gt; タグの必須属性です。</p>

表 B-1 Prime Provisioning の XML ルール、タグ、および属性 (続き)

タグ	説明
<b>FromInterface</b>	名前付き物理回線の開始元のデバイス インターフェイス名を指定します。<connection> タグの必須属性です。
<b>FromIP</b>	名前付き物理回線の開始元デバイスの管理 IP アドレスを指定します。<connection> タグの必須属性です。
<b>hop</b>	デバイスを検出するときに、 <b>ipaddress</b> 属性によって指定されたデバイスから何ホップまでを対象とするかを指定します。<CDP> タグの必須属性です。
<b>ipaddress</b>	シードデバイスの IP アドレスを指定します。<CDP> タグの必須属性です。
<ip-address>	デバイスの IP アドレスを指定します。<device> タグ内で必須です。
<provider-name>	プロバイダーの名前を指定します。
<region-name>	リージョン名を指定します。
<ro-community>	デバイスの SNMP アクセスのレベルを指定します。通常は「public」にします。<snmp-info> タグ内で必須です。
<site-name>	サイト名を指定します。
<snmp-info>	デバイスの SNMP 情報を指定します。<snmp-info> タグには <ro-community> タグを含める必要があります。<device> タグ内では任意です。
<system-object-id>	(任意) 使用するとデバイスに SNMP Object ID (OID; オブジェクト ID) を指定できます。これを指定すると、<device> タグ内に指定されます。
<b>toDevice</b>	名前付き物理回線の接続先デバイス名を指定します。<connection> タグの必須属性です。
<b>toIF</b>	名前付き物理回線の接続先デバイス上で、デバイス インターフェイスを指定します。<connection> タグの必須属性です。
<b>toIP</b>	名前付き物理回線が <connection> タグ必須属性に接続する際の接続先デバイスの管理 IP アドレスを指定します。

